参考資料①

令和4年度 インフラDX合同研修会開催状況



研修名 令和4年度技術主査研修「インフラDXの推進について」

研修日時 令和4年11月25日(金) 13:00~15:00

会場 千代合同庁舎 C301B会議室

出席者 福岡県 技術主査20名

市町村 土木行政に携わる40歳までの市町村担当職員2名

講師 九州地方整備局 インフラDX推進室 房前建設専門官、猪井係長

研修概要 土木技術職員の技術向上を目的とした技術主査研修において、

災害査定のデジタル化やメタバースを活用した事業説明等、 九州地方整備局の取組みを実演を交え研修していただいた。

佐賀県

【受発注者向けICT活用に関する研修会】



■工事概要、座学、ICT機械の説明

【発注者向けCIM講習会】



■CIMの座学



■ICT機械(MCブル)の施工状況の見学



■CIMの事例について説明

長崎県

■目的: 起工測量からICT施工までを体験することによって「i-Construction」を推進する

■主催: 長崎県 島原振興局

■協力: 長崎県内の建設業者(1社)、ICT関連業者(6社) ■参加者: 長崎県職員 約30人

I. 講習概要 <座学と体験による構成>

No.	講習内容
1	ICT活用工事の概要説明(3次元起工測量から実地検査まで)
2	3次元データの活用についての説明(メリット・デメリット、活用事例)
3	DXスマートコンストラクションの説明(Bim/Cim、3次元データのプラットフォーム)
4	ICT建機を使った実地講習(バックホウ、ブルドーザの操作体験)

Ⅱ.講習状況 <座学後、フィールドでの体験>



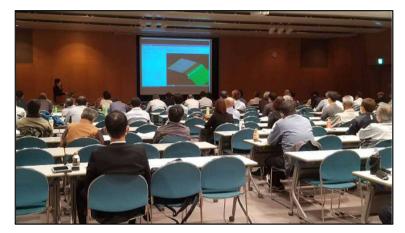
■測量と設計データ等に関する座学



■ICT建機の操作体験

i-Construction(ICT 施工)技術講習会

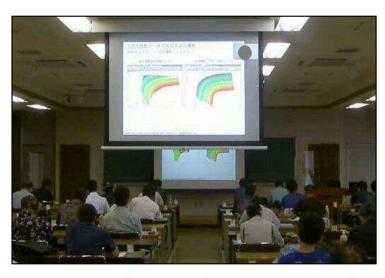
- ●ICT活用工事の施工に必要な技術的内容の講習会を開催 (内容) ①国・地方自治体の取組 ②ICT活用工事の実践
- ●共催:国土交通省 九州地方整備局、熊本県、 (一社)日本建設機械施工協会九州支部



■開催状況【11月21日熊本会場】

i-Construction研修会

- ●ICT施工とインフラDXに関する基礎的な内容の研修会を開催 (内容)①熊本県の取組
 - ②国の取組 (ICTの全面的な活用、インフラDXの推進)
 - ③ICT施工の3次元データの利活用
 - ④ICT舗装工の留意点
 - ⑤現場での取り組み事例 (道路改良工事、砂防えん堤工事)
- ●主催:熊本県、(一財)熊本県建設技術センター



■開催状況【8月5日建設技術センター】

ICT施工現場見学会

●ICT活用工事の現場において、ICT建設機械による施工を見学し、ICT技術を理解する (内容) ICT活用工事概論説明、ICT測量の説明、ICT建設機械の実演・試乗など

●共催:熊本県、建設業協会、施工業者

●参加者:建設業者、県職員、市町村職員



■ICT測量の説明



■ICT建設機械の実演・試乗



■ICT建設機械の実演・試乗



建設産業の生産性向上を目的として、ICT技術を取り入れた測量機器や建設機 械の操作体験など、ICT活用を普及させる研修を大分県内の各地域で実施した。



■令和4年度は、セミナーや体験会など大分県内各地域で開催

	R2	R3	R4*	合計
回数	7回	14回	16回	37回
参加者	176人	605人	856人	1,737人

5月:セミナー(大分) 体験会(大分、竹田)

9月:体験会(佐伯、大野、別府) 11月:体験会(高田、中津、日田)

※R4.11までの実績

■体験会では、ICT活用工事の基礎知識の習得、測量機器や建 機の操作研修を実施





ICT測量機器操作体験



研修参加状况



ICT建機操作体験(モニター付)





宮崎県

○建設ICT研修の実施

■目的: 起丁測量からICT施丁までを体験することによって

「i-Construction lを推進する

■ 主 催: ■参加者: 宮崎県

(公財) 宮崎県建設技術推進機構

好評のため、今年度は、 参加定員を10名ずつ増加!

宮崎県内の県・市町村職員 20名×2回

宮崎県内の建設業関係者 40名×2回

I. 講習概要 <9月1, 2日と10月27, 28日の2回実施>

◇初日

	テーマ	講習内容
0	県内における建設 I C T の取組 インフラ分野の D X の推進	県内における建設ICTに関する取組状況や今後の方向性の説明(宮崎県技術企画課) インフラ分野のDXの概要の説明(九州地方整備局)
2	建設ICT活用工事におけるポイント・留意点	・I C T活用工事におけるポイントや留意点の説明・3 次元データ処理概要の説明
6	3次元データ処理実習	・3 次元設計データ作成 3 D C A Dソフトをインストールした P Cを3 0 台準備し、 実習を行った。

◇2日目

テーマ	講習内容	
● 3次元出来形管理実習	・3 次元測量及び出来形管理について、各種機器 (TS・GNSS、TLS、UAV) を用いて実習を行った。	
② 建設ⅠCT施工実習	・小型建設機械による建設 I C T施工実習(小型バックホウM G・M C) ・建設 V Rの説明及び体験	
● 発注者における建設 I C T の留意 点などについて	・積算時における留意点や施工計画書、出来形管理の チェックポイントの説明(県・市町村職員のみ対象)	

Ⅱ. 講習状況 <PCでの実習やフィールドでの体験>

ICT施工に関する一連の動き(測量~設計~施工) を実際に体験し、現場施工に役立てる!



■UAVレーザ計測体験





バックホウブレードM C

建設VR体験

■ 3 次元設計データ作成の実習



宮崎県

I. i-Construction(ICT施工)技術講習会

■日時·場所:令和4年12月2日(金) 10:30~16:16

宮崎市民文化ホール

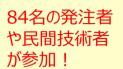
■講習内容:①国・地方自治体の取り組み

②ICT活用工事の実践

·3 次元計測 ·ICT建設機械

・3次元データの効果的活用・施工計画、実施検査

■共 催:九州地方整備局、JCMA、宮崎県





Ⅱ. インフラD X 合同研修会

■日時·場所:令和5年2月16日(木) 13:15~16:30

宮崎県庁防災庁舎72号室など

■研修内容:①インフラDXの概要、九地整の取り組み

②デジタル技術の体験

・360°カメラ ·iphoneによる点群計測

・ドローン実演

■講師:九州地方整備局、民間コンサル

○体験者の声(アンケート結果) N=11

「とても分かりやすかった」「今後の業務に役に立つ」という意見は回答者全員より頂きました。

・印象に残った技術で多かったのは「点群データ」 導入したい技術では「360°カメラ」でした。

・個別意見では、「**技術的には素晴らしいもので、** 価格的にも想像以上の安さでとても良い技術なので、 すぐにでも導入したい」





▼体験者の満足度



ICT活用工事に関する技術講習会や技術職員の知識・技術習得,課題解決のための勉強会の開催

建設技術者研修会

主 催:県建設業協会・県土木部

開催:毎年

対象者:県内建設業の技術者

開催地:建設業協会各支部19会場

参加数:約2,200名程度

内 容:ICT活用工事の取組,

遠隔臨場, 電子納品,

情報共有システム、

労働災害 など

その他施工における留意点

その他:CPDS対象研修



i-Construction研修

主 催:県土木部

開催日:令和4年度(3日間)~

対象者:県職員(土木技師)

開催地:県庁会議室,現場

参加者:約30名(各地域振興局5名程度)

内 容: ICT活用工事の取組

現場研修(民間宅地造成現場)

ドローン基礎知識

CIMを学ぶ

発注者側のICT活用工事の留意点

3DCAD操作研修 など







CIM勉強会

主 催:鹿児島県測量設計業協会

県土木部

開 催:令和4年度~

対象者:土木技術者(民間·行政)

開催地:県庁会議室(WEB)

参加者:約160名

測量設計コンサルタント

県職員

内 容:県で実施した設計業務の3次

元モデルの事例紹介





R4年度

講習会

時:令和4年8月17日(水)9:00~16:00

易 所:南部合同庁舎5階会議室・国場川河道掘削工事現場

参加者:沖縄県職員・沖縄総合事務局職員・関係受注者

容:・沖縄県における「i-Construction」の取組状況について(要領改定内容、及び工事費への積算計上方法についての説明)

・新たなICT 施工技術について概要説明(国基準の改定内容、新たなICT 活用工事の工種について概要説明及び出来形管理方法等の留意点)

・事例説明(小規模土工の3次元出来形管理)

・事例照会(新たなICT 施工技術である橋梁下部工の3 次元出来形の実施事例等)

・現場研修各社のICT建機デモ(建機に設置したモニターにて設計データ情報表示の確認・施工履歴で掘削数量・面積の管理など)













インフラDX合同研修会の開催状況【北九州市】

1. 人材育成「i-Construction研修」(令和4年度のべ513名参加) 〇はじめの一歩(オンライン・体験会) <トプコン 北九州トレーニングセンタ>







【5月】

〇受発注者間情報共有システム(ASP)(オンライン・ハンズオン)





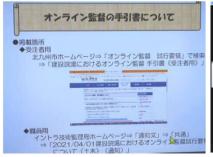
【7月】

〇現場見学会(ドローン橋りょう点検) 〇遠隔臨場(オンライン)





【8月】





【10月】

OBIM/CIM、「ホンキの一歩」の研修を開催【11月】

福岡市

ICT活用工事での現場見学会の実施

(1) 開催時期:令和4年12月

(2)対 象:市職員及び

建設業関係者等 約50名

(3)内 容:ICT機器を搭載した建設機械の施工

ドローンによる計測

ウェアラブル型デバイスによる計測









遠隔臨場研修の実施

(1) 開催時期:令和4年9月

(2)対 象:市職員 約10名

(3) 内 容:遠隔臨場の概要説明

遠隔臨場の効果

遠隔臨場デモンストレーション





出前講座の実施

(1) 開催時期:令和4年11月

(2) 対 象:建設業関係者 約80名

(3)内 容:ICT活用工事について

建設発生土の取扱いについて 土木工事検査について 等



- ■業界団体が主催する建設技術講習会において出前講座を実施
- ■熊本市におけるICT施工の取り組み状況を説明し、その推進を図るもの

I. 講習概要

(1)対象:建設業関係業者(約80名)

(2)内容:「ICT活用工事の背景」

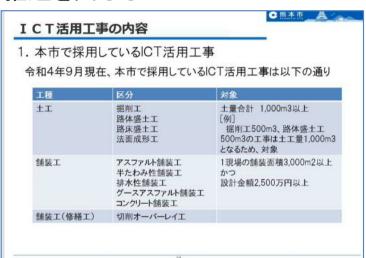
「ICT活用工事の内容」

「ICT活用工事の今後について」

(3)日時:令和4年9月29日(木)

Ⅱ. 講習状況







内閣府 沖縄総合事務局

日 時:令和4年8月17日(水)9:00~16:00

場 所:南部合同庁舎 5階会議室·国場川河道掘削工事現場

参 加 者:沖縄県職員・沖縄総合事務局職員・関係受注者

内 容:沖縄県における「i-Construction」の取組状況について(要領改定内容、及び工事費への積算計上方法についての説明)

新たなICT 施工技術について概要説明(国基準の改定内容、新たなICT 活用工事の工種について概要説明及び出来形管理方法等の留意点)

事例説明(小規模土工の3次元出来形管理)

事例照会(新たなICT 施工技術である橋梁下部工の3 次元出来形の実施事例等)

現場研修 各社のICT建機デモ(建機に設置したモニターにて設計データ情報表示の確認・施工履歴で掘削数量・面積の管理など)











- ◆令和3年度秋季の九州・沖縄ブロック土木部長等会議で、令和4年度の共通目標としてインフラDXの 普及・拡大に向けて<u>「国・県・政令市合同のインフラDX研修会を開催する」</u>とされており、合同の研 修会等を実施しているところです。
- ◆令和4年度は、福岡県、長崎県、宮崎県、福岡市、熊本市と合同研修会(体験会)を実施し、令和5年度も引き続き取り組んでまいります。
- ◆実施内容:九州地方整備局のインフラDXの取り組み紹介(災害調査のデジタル技術紹介等)【講座】 360°カメラの撮影、スマートフォンを用いた点群計測など【体験】







R4.6.21,22福岡市





R4.7.25熊本市





R4.7.27長崎県







R4.11.25福岡県









R5.2.16宮崎県



- ・建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の普及促進のため、<u>九州地方整備局、</u> <u>(一社)日本建設機械施工協会九州支部、各県・政令市との共催</u>で ICT 活用工事の施工に 必要な技術的内容の講習会を実施しました。
- ・<u>九州各県7会場で実施し、延べ563名の参加者</u>がありアンケート結果も<u>好評</u>でした。 今後も関係団体と連携し、継続していく予定です。

国土交通省 Press Release

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和4年9月8日 九州地方整備局

ICT 施工の技術をより深く学べます

~i-Construction (ICT 施工) 技術講習会を10月より九州各県で開催~

九州地方整備局では、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の普及促進のため、H28年度より(一社)日本建設機械施工協会九州支部との共催にてICT活用工事の施工に必要な技術的内容の講習会を開催してきました。

このたび、さらなる普及促進を図るべく地方自治体とも連携した講習会を下 記のとおり開催いたします。

開催概要

■日時・場所: 令和4年10月~12月 九州7県(別紙のとおり)

■対 象 者:どなたでもご参加いただけます(参加費:無料)

■講 習 内 容: ① 国・地方自治体の取組

② ICT 活用工事の実践

3 次元計測ICT 建設機械

・3次元データの効果的活用 ・ 施工計画、実地検査

■共 催:国土交通省 九州地方整備局 (一社)日本建設機械施工協会九州支部 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 北九州市、福岡市、熊本市

■申 込 み:九州地方整備局ホームページより様式をダウンロードし、メールにて申し込み(別紙のとおり)

開催地	開催日	会 場 名	参加者
佐 賀	10月18日(火)	佐賀市文化会館	81名
福岡	11月1日(火)	リファレンス駅東ビル	76名
長崎	11月11日 (金)	ブリックホール国際会議場	91名
大 分	11月15日(火)	別府国際コンベンションセンター	78名
熊本	11月21日(月)	くまもと県民交流館パレア	75名
宮崎	12月2日 (金)	宮崎市民文化ホール	84名
鹿児島	12月9日 (金)	鹿児島県市町村自治会館	78名
		수 計	563名



【10月18日 佐賀会場】



【11月15日 大分会場】